



Lets Go! こども食堂
佐藤錦
こども食堂

東根市

リボンに想いをのせて 子どもたちにごはんをお届け！
「フードリボンプロジェクト」で居場所づくり



体験
ルポ

東根市三日町にある「喫茶・お食事処 佐藤錦」は、店頭での食料品販売や食事の提供、仕出し弁当などを営むお店です。店内には食料品やお惣菜のほか、山形の特産品や手作りお菓子など、バラエティに富んだ品々が並びます。

2年ほど前から「フードリボン」という仕組みを取り入れて、こども食堂を開催しています。フードリボンプロジェクトは、ロングスプーン協会が呼びかけ、全国に広がっている活動です。「子どもたちの『今日の一食』をリボンで支えることで、子どもたちがいつでも安心して食事ができるようにすること」が目的です。佐藤錦は、現時点で県内唯一のフードリボン開催店です。



毎週月・水・金曜日の夕方が、こども食堂の時間。中学生までの子どもたちは、フードリボンをひとつ取ると、店内にならぶお惣菜やお弁当から食べたいものを選ぶことができます。

さまざまなお惣菜の中から気に入ったものをトレーに



乗せてレジに持っていくと、お店のスタッフが受け取り、ごはんやおかずを温めてお皿ののせてくれます。お味噌汁とゼリーもつけて、イートインコーナーで受け取り、ゆっくりいただきます。その時のお腹の空き具合や好みに合わせて、自分で食べるものを選ぶというのは、とても嬉しいですね。

また、季節の行事に合わせての特別メニューを出すこともあります。2月に実施した「恵方巻」の回では、具だくさんの恵方巻を予約制で提供しました。子どもはフードリボンを活用して無料、大人も一緒に注文する時は400円と、安くて大満足の内容です。この日は15組以上の予約があり、大盛況でした。

「フードリボンは食事に困っている子だけでなく、誰でも使えます。家でも学校でもない、気軽に立ち寄れる『居場所』としてみなさんに来てほしいし、山形でもフードリボンを活用するお店がもっと増えてほしいと思っています」と、プロジェクトリーダーの佐藤智子さんは話します。

お店では普段から、子どもたちが店内のイートインコーナーで休憩をしたり、遊びの合間に水を飲みに来たりと、明るくて元気な声がたくさん響いています。これも、フードリボンの活動を通して「安心できる居場所」となったからかもしれませんね。

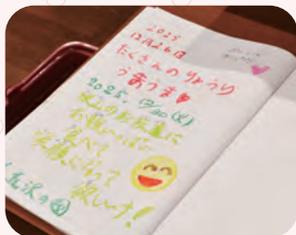


おいしくて
お味噌汁
おかわりしたよ!

子どもたちがいつでも安心して食事ができる、それが「佐藤錦」の願いです

参加者さんの声

- すごくおいしい。特にカツ丼はめっちゃうまいです!
- 1年前から利用していますが、とても助かっています。
- お腹いっぱい食べて、冬を乗り越えてほしいな。(リボン購入者)



Instagramもご覧ください

@yu.satonishiki



フードリボンプロジェクトのしくみ

お店を利用するお客さんが1つ300円のリボンを子どもの一食分として「先払い購入」して、子どもたちはそのリボンを1つ手に取り、1食分の食事ができるというしくみです。

- 1 お客さんはリボンを購入し、店内のボードにストックします。



- 2 子どもは掲示されたリボンを使って食事ができます。



こども食堂の開催概要

いつ：月・水・金曜日（不定休あり）

15:00～17:00

どこで：喫茶・お食事処 佐藤錦

対象：中学生以下の子ども

料金：無料

申し込み：不要



利用方法

掲示されているリボンをとってお店の人に渡してね。
リボンを使ってご飯が食べられるよ。

所在地	〒999-3706 山形県東根市三日町 2-1-24
TEL	有限会社 佐藤錦 0237-42-0894
Mail	info@satonishiki.com

代表者インタビュー



有限会社佐藤錦 専務取締役
佐藤 智子 さん

■始めたきっかけ

以前はフードドライブの活動に協力したりしていましたが、「食に困る子どもが増えている」ということを知り、飲食店でできるこども食堂はないかと考えるようになりました。インターネットで「フードリボン」を知り、これだと思いつきに動き始めたんです。リボンやのぼり旗は主催するロングスプーン協会が提供してくれたので、すぐにこども食堂を始めることができました。

■始めてみて

思った以上に反響があり、子どもたちがお店に気軽に入ってくるようになりました。いろいろ話したり、お友達同士で仲良く食べたりする姿を見ると嬉しいですね。リボンがゼロの時もありましたが、徐々に協力したいという方が増えて、今では300個以上のストックがあります。毎月必ずリボンを購入してくださるお客さんもいて、フードリボンの輪が広がっていると感じます。

また、年に数回、「こども食堂&おとな食堂」として、大人の方も利用できる日を設けています。大人はフードリボンを使わず有料(300円～)としていますが、地域のおじいちゃんやおばあちゃんなどにも喜ばれています。家や学校とは違う、気軽に立ち寄れる居場所は大切だと思うので、どなたでも立ち寄ってほしいと思います。

